

新病院建設に向けたプロジェクト

新城市民病院
病院だより

第226号

新城市民病院総務企画課

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852

Fax 0536-22-2850

第3回 市民ワークショップ を開催しました

新病院建設基本構想の策定のため、「みなで考えよう あなたのまちの市民病院」をテーマに、最終回となる3回目を9月13日（土）に開催しました。

2回目で、「市民病院に期待する役割・機能は？どのような施設・設備・サービスを望むか？」について、グループごとに積極的な意見出しをしていただき、多くの意見の中からハード面、ソフト面それぞれ3つずつをグループの代表意見として決定しました。

▼ワークショップの様子



今回は、まとめた意見についてグループごとに発表し、参加者の皆さんに、その中で特に重要と考える意見2つに「いいねシール」による投票を行いました。その結果をワークショップでの重点施策として決定しました。

参加していただいた皆様には、お忙しい中、3回に亘り参加していただき、また、積極的な意見出しをしていただきありがとうございます。基本構想に取り入れていきます。

これまでの取り組みを掲載しています

新城市民病院ホームページにて、第1回・第2回ワークショップの様子や、新病院建設基本構想検討委員会について掲載しています。

▼新病院建設基本構想検討委員会を開催しました



▼市民ワークショップを開催しました



災害拠点病院、DMAT指定医療機関としての役割

当院の災害派遣医療チーム(DMAT)が訓練に参加しました

9月5日(金)及び9月6日(土)、内閣府主導の総合防災訓練の一環として、「日本海溝・千島海溝周辺型地震における具体的な応急対策活動に関する計画」に基づく医療活動訓練を実施しました。

この訓練は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定し、甚大な被害が発生した北海道、青森県、岩手県及び宮城県を被災地と仮定し、災害派遣医療チーム(DMAT)の参集・活動・医療搬送等についての図上訓練や実動訓練を行うものです。



▲活動拠点本部に到着しました



▲オンラインヒアリングの様子

参加チームは岩手県の長者原サービスエリアに集合し、その後岩手県北上市にある岩手県立中部病院内の「岩手県中部・胆江・両盤医療圏DMAT活動拠点本部」に向かい、一関市国民健康保険藤沢病院を対象とした病院支援訓練を実施しました。

訓練内容としては、オンライン環境を活用し、病院側へのヒアリングを行い、必要情報をEHRの(医療情報共有システム)へ代行入力しました。さらに、病院方針の決定まで支援する一連のプロセスを行い、災害における迅速かつ適切な医療対応の強化を図りました。

このように当院のDMATは定期的に訓練へ参加し、高度かつ専門的な訓練により技能維持を図り、平時から災害に備えています。